

# Suiden

## スポットエアコンクールスイファン

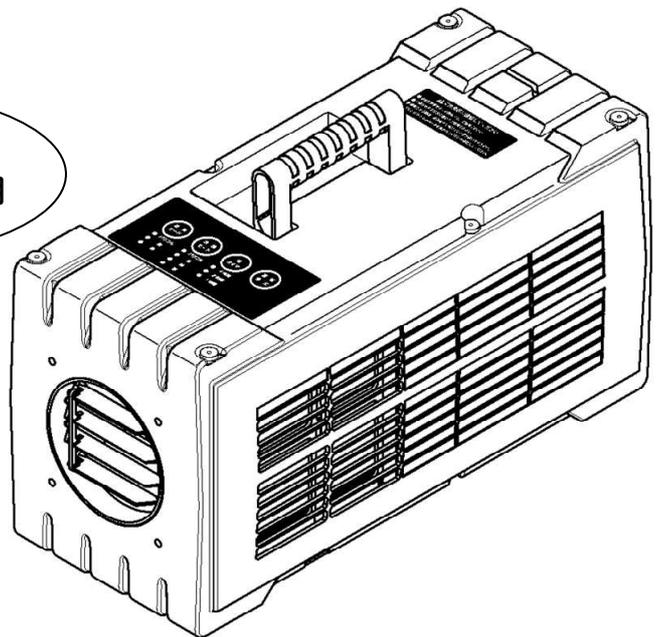
ハンディータイプ

SS-1SAW-1

SS-1SAG-1

## 取扱説明書

オゾン破壊係数ゼロ  
新冷媒R134A採用



### もくじ

	ページ
1 安全のために必ずお守りください.....	1
2 仕様と付属品.....	3
3 各部の名称.....	4
4 準備.....	4
1. 排水ホースを接続する.....	4
2. 本体と電源の接続.....	5
3. 試運転.....	5
5 ご使用方法.....	5
1. 操作パネルの名称と働き.....	6
2. 本体の置き場所と移動.....	7
6 別売品のご案内.....	7
7 保護装置.....	10
8 お手入れと保管.....	11
1. 吸気フィルターのお掃除.....	11
2. 排気フィルターのお掃除.....	11
3. 外装のお手入れ.....	11
4. シーズンが終わったら.....	12
9 安全のための点検のお願い.....	12
10 こんなときは(故障かな?と思ったら)...	13
11 経年劣化に係る安全上の表示について...	14
12 アフターサービスと保証について.....	15

**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。**  
必要ときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈**Suiden** スイデン〉製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

**注記** 塩酸や硫酸など、著しく金属を腐食させるガス・蒸気が存在する場所に設置しないでください。  
\* ガス漏れや、性能劣化の恐れがあります。

日本国内100V電源専用

# 1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△警告・△注意の2つに区分しています。

しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

**△警告**：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

**△注意**：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

**注記**：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。(左図は感電注意)
		⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描いているものもあります。(左図は分解禁止)
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。(左図はアースする)

## ●製品仕様への注意事項

<b>△ 注意</b>	
 決められた製品仕様以外で使用しない。 * 漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。	 船舶・車両などの空調用としては使用しない。 * 水漏れ・漏電の原因になります。

## ●搬入・移動上の注意事項

<b>△ 注意</b>	
 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガの原因になります。	 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけがかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 * 腰を痛める原因になります。
 移動・運搬の前に、必ず本体内のドレン水を出し切る。 * ドレン水がこぼれると、本体内部に浸水して感電することがあります。	 本体を横に倒した状態で、移動・運搬をしない。 * 内部部品の破損の原因になり、感電や発火の恐れがあります。

## ●試運転・運転の際の注意事項

<b>△ 警告</b>	
 濡れた手で、電源プラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。	 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。 * 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。

## ⚠ 警 告

<p> 水・油などをかけない。 * 火災・感電・漏電の原因になります。</p>	<p> 著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所で使用しない。 * 絶縁不良による感電や発火の原因になります。</p>
<p> 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。</p>	<p> アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じんの近くや雰囲気内で使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。</p>
<p> 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 * プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p>	

## ⚠ 注 意

<p> 人体に有害な粉じんが浮遊する場所に置かない。 * 本機に有害な粉じんが付着すると、運転時に有害粉じんが拡散する恐れがあります。</p>	<p> 本体内部の金属部品(アルミフィン)にさわらない。 * 手を切るなど、ケガをする恐れがあります。</p>
<p> 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>	<p> 冷風を長時間、体にあてない。 * 健康を害する恐れがあります。 冷風を集中して直接体にあてないようにしてください。</p>
<p> 交流100V以外で使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p> 運転・停止の操作は、必ずスイッチで行う。 * 電源プラグの抜き差しによる操作は、感電や火災の原因になります。</p>
<p> 運転可能条件範囲内で使用する。 * 感電・火災・故障の原因になります。 20°C. 50%~40°C. 40%の雰囲気内でご使用ください。</p>	<p> 切削油などの鉱物油の立ち込める場所で使用しない。 * 樹脂部の劣化により、ケガや事故の恐れがあります。</p>
<p> 振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。 * 転倒などによりケガや事故の原因になります。また、水漏れの原因になります。 振動のない水平な場所で使用してください。</p>	<p> 火花の飛び散る場所で使用しない。 火気に近づけない。 * フィルターに着火すると火災の原因になります。</p>
<p> 導電体(カーボン・鉄・鋳物・アルミなど)の粉じん発生場所で使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p> 浮遊粉じんの多い場所では、必ず定期的に内部を掃除する。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
<p> 水のかかる場所で使用しない。 * 絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。</p>	<p> 排気口に手や指を入れない。 * ケガの恐れがあります。</p>
<p> フィルターを外したままで使用しない。 * フィルターを外すと熱交換機が露出し、ケガの原因になります。</p>	<p> 不安定なものの上に置いて使用しない。 * 本体の転倒や落下により、ケガの原因になります。</p>
<p> 本体の上に乗ったり、物を乗せたりしない。 * 落下・転倒などにより、ケガの恐れがあります。</p>	<p> 本体の上に水の入った容器などを載せない。 * 水がこぼれて本体内部に侵入すると、感電する恐れがあります。</p>
<p> 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p> 延長コードを使用するときは、指定の長さ以内で、指定の公称断面積のものを使用する。 * コードが発熱して火災の危険があります。</p>

## ⚠ 注 意

<p>⊘ 電源プラグにピンやゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p>⊘ 電源コードに重い物をのせたり、挟み込まない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p>⊘ 電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の危険があります。 必ず伸ばした状態で使用してください。</p>	<p>⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p>⚡ 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>	<p>⚡ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引抜く。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>

## ●保守・点検の際の注意事項

## ⚠ 注 意

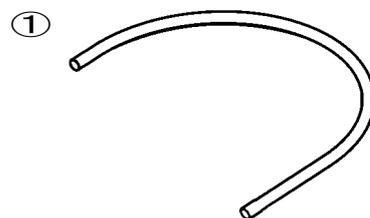
<p>⊘ 修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 * 発火したり異常動作をすることがあります。</p>	<p>⚡ お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをする恐れがあります。</p>
<p>⚡ 保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをすることがあります。</p>	

## 2 仕様と付属品

品 番	SS-1SAW-1	SS-1SAG-1
種 類	冷房専用・一体形・直吹き形	
電 源	100V (50/60 Hz)	
冷 房 能 力	0.39 kW	
圧 縮 機	全密閉型ロータリー・出力50W	
送 風 機 公称出力	冷風側	48 W
	排熱側	20 W
冷 風 側 風 量	強1.2 m <sup>3</sup> /min	
冷風吹出温度差	12.5 °C	
冷房消費電力	0.25 kW	
運 転 電 流	3.8 A	
力 率	66 %	
冷 媒	R134A	
冷媒封入量	100 g	
設 計 圧 力	H: 1.17 MPa	L: 0.4 MPa
I P コ ー ド	IP12	
製 品 質 量	8.4 kg	
外 形 寸 法	幅 205 × 奥行 470 × 高さ 255 mm	
運 転 可 能 条 件	20°C(50%)~40°C(40%)	

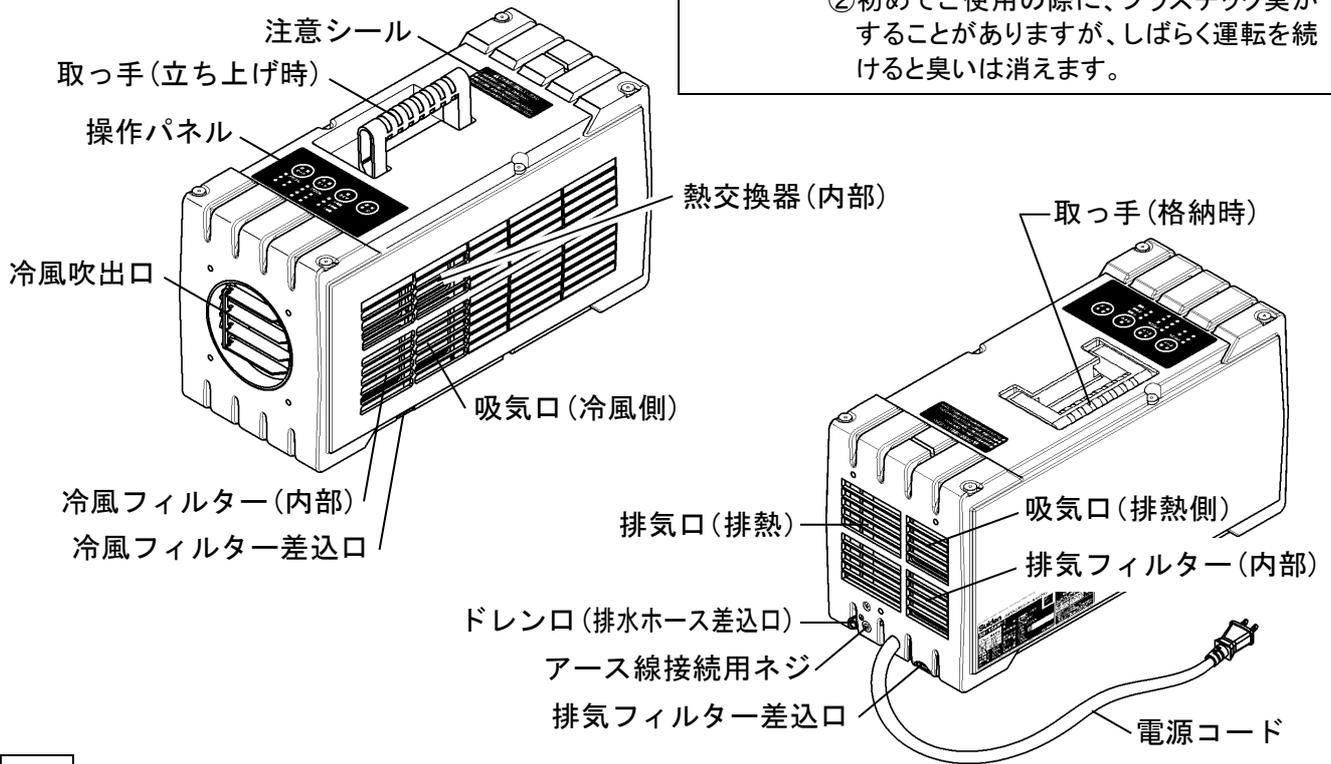
## 付属品

- ①排水ホース……1本
- ②取扱説明書……1部



- 冷房能力、消費電力、運転電流は、周囲温度37°C、相対湿度60%で[パワフル]運転したときの値です。
- 冷風吹出温度差は、周囲温度27°C、相対湿度47%で[静]運転したときの値です。
- 発電機を電源とするときは、0.9kVA以上のものをご使用ください。

### 3 各部の名称



**注記** ①排水ホースは、本体と同梱しています。(お客様組立て式)  
 ②初めてご使用の際に、プラスチック臭がすることがありますが、しばらく運転を続けると臭いは消えます。

### 4 準備

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

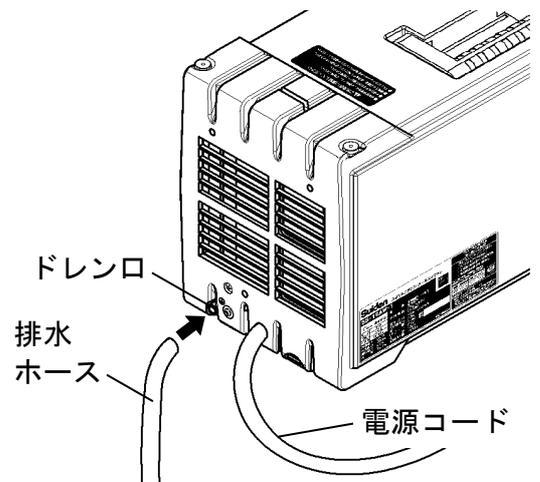
**注記** ①排気口に、物や棒などを入れないでください。内部部品を傷めたり、故障の原因になります。  
 ②排気口を塞がないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。

#### 1.排水ホースを接続する

冷風運転時は、ドレン口から排水されます。  
 付属の排水ホースをドレン口に接続してください。

**排水ホース使用上の注意！**  
 排水が出来ず、本体より水漏れが発生します。

- 先端を塞がない
- 水につけない
- 途中と先端をドレン口より高くしない



排水経路をご確認ください。

- 排水先に電化製品やコンセントなど、水をかけてはいけないものが無いこと。
- 特に傾斜地に排水する場合、ホースから出た水がどこを通るのかご注意ください。

## 2. 本体と電源の接続

### (1) 電気配線

電源は、専用回線(専用電源)をご使用ください。

必ずアースしてください。

アース線は、25m 以内で公称断面積2.0mm<sup>2</sup>のものをご使用ください。

アース線接続用  
ネジ

排水ホース

電源コード

### (2) 漏電遮断機

漏電ブレーカーは、15A. 30mA. 0.1sec以下のものを使用してください。

### (3) 使用電源電線(延長コード)

電線の長さ	公称断面積
25m以内	2.0mm <sup>2</sup>

## 3. 試運転

操作パネルを操作し、機能が異常なく作動するかご確認ください。

- ① 操作パネルの操作方法は、6ページ「操作パネルの名称と働き」をご参照ください。
- ② 異常がある(作動しない)場合は、13ページ「**10**こんなときは」の各項目をご参照ください。

### 注記

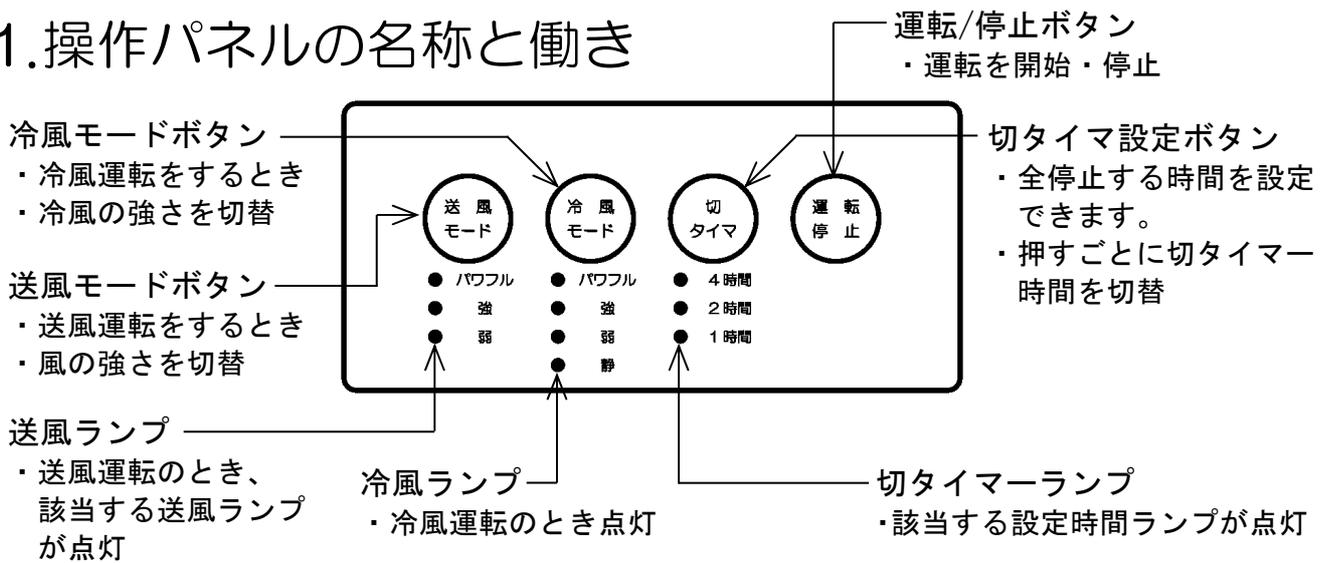
- ① 「冷風」運転から「停止」または「送風」運転に切替えて、すぐ「冷風」運転にしたときは、コンプレッサー保護のため、約3分間は冷風運転を行いません。  
3分以内での切替えを頻繁に行うと、配管の割れによるガス漏れまたはコンプレッサーや保護装置が故障する恐れがあります。  
コンプレッサーの停止と起動の間隔は、3分以上の時間をとるようにしてください。
- ② 初めてご使用の際にプラスチック臭がすることがありますが、しばらく運転を続けると臭いは消えます。

## 5 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「**1**安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

\*\*\*\*\*  
\*  
\* 久しぶりにご使用になるとき \*  
\* ●シーズン始めには、必ずフィルターのお掃除をしてください。(11ページご参照) \*  
\* \* フィルターにほこりなどが付着していると冷房能力が低下します。 \*  
\* ●熱交換器が汚れていると、冷房能力が下がったり故障の原因になります。 \*  
\* 熱交換器の水垢洗浄やゴミ除去が必要な場合は、販売店またはお客様相談室に点検・ \*  
\* 整備をご依頼ください。 \*  
\* \*  
\*\*\*\*\*

# 1.操作パネルの名称と働き



ボタン名	機能	表示
送風モードボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>送風運転をします</li> <li>押すごとに送風の強さを切替</li> </ul>	送風ランプが点灯 > パワフル → 強 → 弱 <
冷風モードボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷風運転をします</li> <li>押すごとに冷風吹出しの強さを切替</li> </ul>	冷風ランプが点滅または点灯 > パワフル → 強 → 弱 → 静 <
切タイマー設定ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>全停止する時間を設定できます</li> <li>押すごとに切タイマー時間を切替</li> </ul>	切タイマーランプが点灯 > 1時間 → 2時間 → 4時間 < 切タイマー解除 <
運転/停止ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転を開始、または停止します</li> <li>前回の運転モードを記憶しています。</li> </ul>	

**注記** 「冷風」運転から「停止」または「送風」運転に切替えて、すぐ「冷風」運転にしたときは、コンプレッサー保護のため、約3分間は冷風運転を行いません。コンプレッサーの停止と起動の間隔は、できるだけ3分以上の時間を開けてください。

冷風ランプが点滅しているとき (下記例) 冷風モード「強」で運転していたとき  
 ※ランプの点滅パターンについては10ページもご参照ください。

- 3分保護が作動したときは、冷風ランプが点滅します。
- 凍結防止が作動したときは、冷風ランプが2点滅します。
- コンプレッサー異常のときは冷風ランプがゆっくり点滅します。



**解除方法**  
 ①保護時間が経過すれば自動解除します。



**解除方法**  
 ①自動復帰するまでお待ちください。



**解除方法**  
 ①運転/停止ボタンで停止します。  
 ②3分後、再度運転/停止ボタンで運転を再開したとき同じ症状であれば販売店などにご連絡ください。

## 2. 本体の置き場所と移動

### (1) 置き場所

- ① 吸気側および排気側に障害物のない場所でご使用ください。  
設置条件は、図を参照してください。

#### 注記

- ① 閉め切った部屋などでご使用されると本機の排気(排熱)がこもりますのでご注意ください。  
② 酸性またはアルカリ性など一般の雰囲気と異なる場所に設置しないでください。  
\* 熱交換機などが腐食する恐れがあります。  
③ オイルミストが漂う雰囲気内に設置しないでください。  
\* オイルの膜が出来て、ドレン水が多くなったり、水漏れする原因になります。

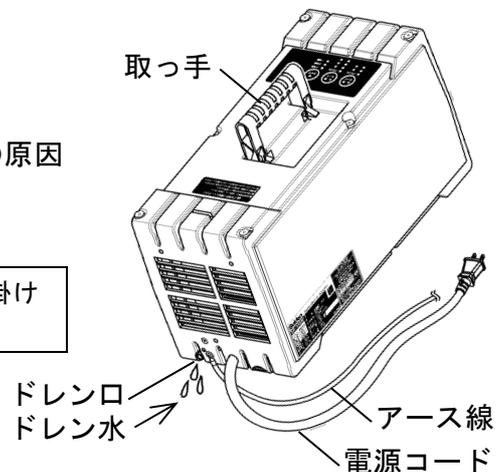
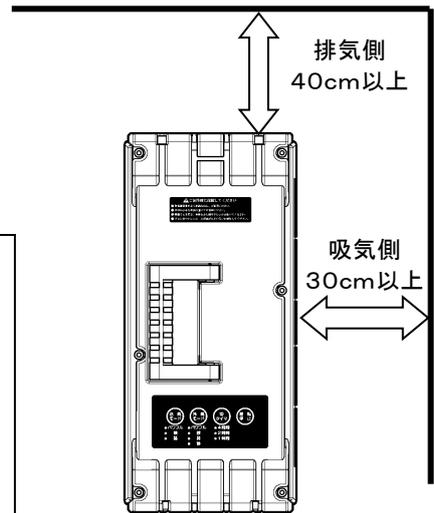
- ② 平らな面に水平に置いてご使用ください。  
10度以上傾けてのご使用は、故障や水漏れの恐れがあります。

### (2) 持ち運び

- ① 本体内に残っているドレン水を出し切ってください。  
本体を少し傾けると出やすくなります。  
※ 本体を40度以上傾けたり、垂直に立てて排水すると故障の原因になります。
- ② 取っ手を立てて、取っ手を持って持ち運んでください。

#### 注記

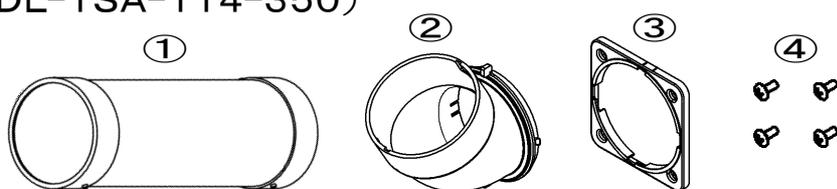
持ち運ぶ際、電源コードやアース線、排水ホースを引っ掛けたり踏んだりしないようご注意ください。



## 6 別売品のご案内

### 《冷風ダクト》(SS-DL-1SA-114-350)

- ① 冷風ダクト  
② ダクト用エルボ  
③ 冷風ダクト受  
④ ネジ4本



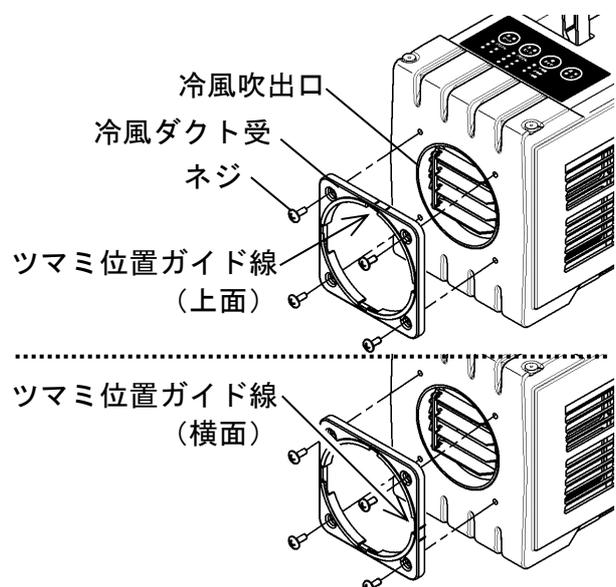
### (1) 冷風ダクト受の取付け

冷風吹出口にネジ4本で冷風ダクト受を取付ます。  
冷風ダクト受にダクト用エルボのツマミ位置ガイド線があります。

- ガイド線が上面：エルボは上向きまたは下向きになります。
- ガイド線が横面：エルボは横向きになります。

#### 注記

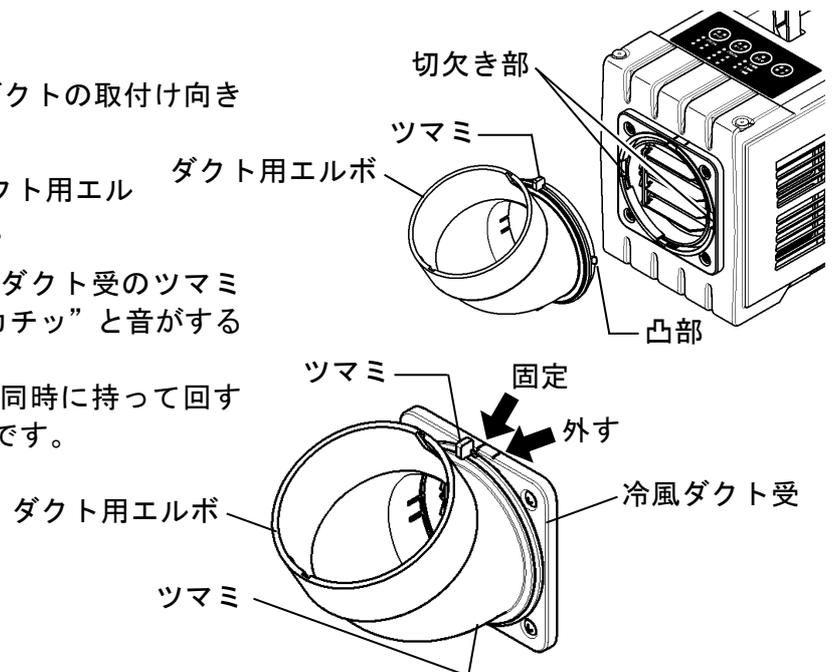
冷風ダクト受は正方形です。  
吹出口にはどの向きでも取付できますが、冷風ダクト受の取付向きで、ダクト用エルボの開口向きが決まります。



## (2)ダクト用エルボの取付け

ダクト用エルボの取付け向きで冷風ダクトの取付け向き（冷風吹出し向き）が決まります。

- ① 冷風ダクト受の切欠き部に、ダクト用エルボの凸部を合わせて差込みます。
- ② ダクト用エルボのツマミを冷風ダクト受のツマミ位置ガイド線「固定」方向に“カチッ”と音がするまで動かします。  
ツマミは2か所あります。両方同時に持って回すように動かすと、固定しやすいです。



## (3)冷風ダクトの取付け

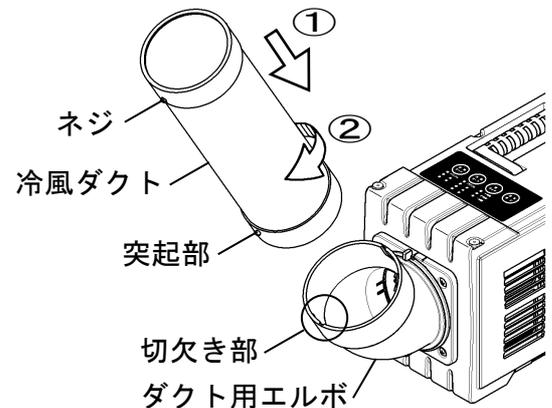
- ① ダクト用エルボの切欠き部に、冷風ダクトの突起部を合わせて差込み、右側に止まるまで回します。

※ネジ側は切欠き部には入りません。

※冷風ダクトは、エルボ側に近いところを持って取付けてください。ネジ側を持って冷風ダクトを回すと、冷風ダクトがやわらかくなり垂れ下がる可能性があります。

- ② 冷風ダクトを送風したい方向に曲げてご使用ください。

※送風範囲は、9ページ「風向き調節」の項をご参照ください。



## (4)ダクト用エルボを取外すとき

シーズンオフの収納時などにダクト用エルボを取外す場合は、下記の手順で行ってください。

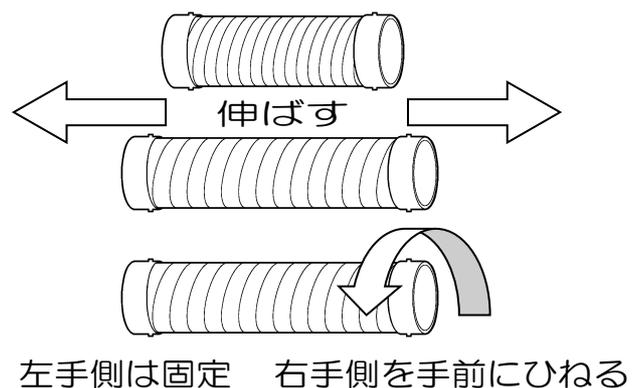
- ① 冷風ダクトを取外します。
- ② ダクト用エルボのツマミを「外す」に合わせて冷風ダクト受から抜く、またはネジを外して冷風ダクト受ごと取外します。



## ●冷風ダクトの柔軟性に関するお知らせ

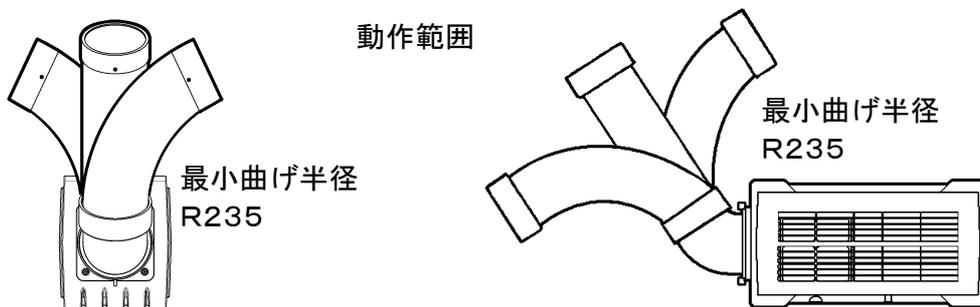
冷風ダクトがやわらかく、冷風吹出し口が垂れ下がる場合は、下記の方法で、冷風ダクトの腰を強くしてください。

- ① 冷風ダクトの両端を左右に引っ張り、伸ばしてください。
- ② 両端のダクトキャップを両手でつかみ、冷風ダクトをひねります。  
左手側を固定し、右手側を手前に1~2周ひねると、冷風ダクトの腰が強くなります。

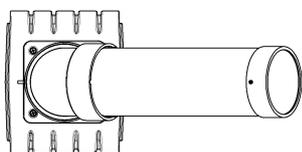


## (5) 風向き調節

- ① 冷風ダクトはフレキシブル性を持っています。  
動作範囲内で好みの方向に曲げてご使用ください。

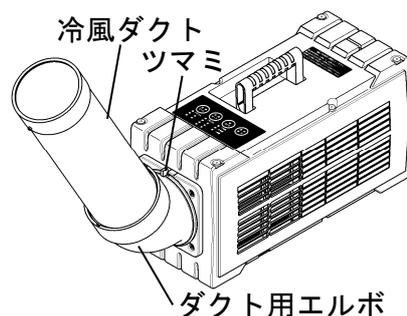


- ② 冷風ダクトを横向きにしたい場合は、冷風ダクト受を本体から一旦外し、90度回して再度本体にネジ止めしてください。



### 注記

- ① 冷風ダクトを曲げるときは、必ずダクトを伸ばした状態で行ってください。
- ② 冷風ダクトを曲げるときは、エルボ部分に手を添えて、ていねいに曲げてください。  
\*無理をすると部分破損の原因になります。
- ③ 冷風ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。  
\*内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
- ④ ダクト用エルボをつけたまま冷風ダクト受を外すときは、エルボのツマミがガイド線の「固定」側にあることを必ず確認してください。



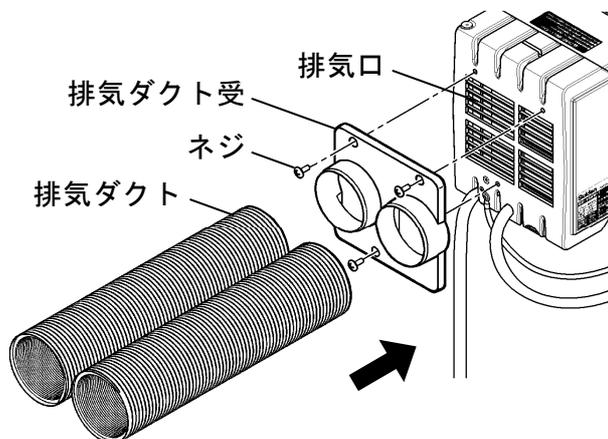
## 《排気ダクト》 (SS-HDW-1SA-90-1.5M)

別売の専用排気ダクト(口径φ90mm×長さ1.5m)を排気口に接続すると、室外に排熱空気を排出できます。

\* 排気ダクトは、出荷時は0.3mですが、最大1.5mまで伸ばすことができます。

### (1) 排気ダクトの取付け方

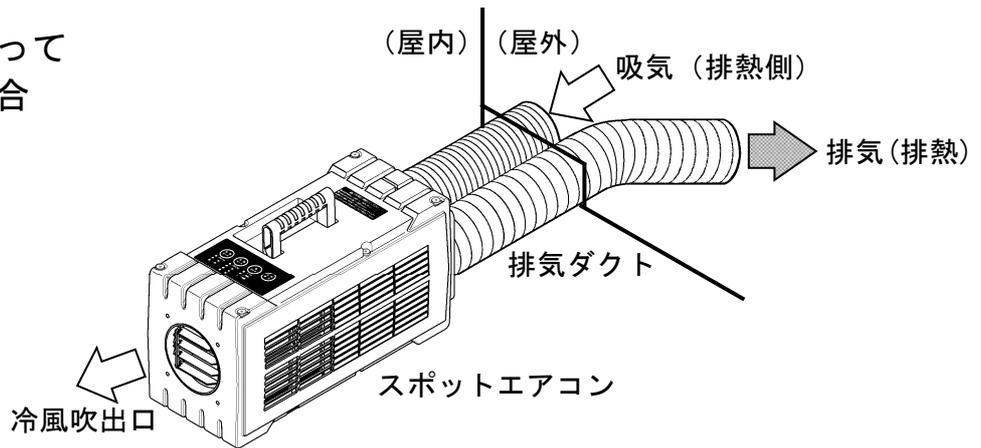
- ① 排気ダクト受をネジ3本で固定します。
- ② 排気ダクトを排気ダクト受の面に当たるまで差込みます。



### 注記

- ① 排気ダクトの中に棒などを入れないでください。内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
- ② 排気ダクトの先端を細く絞ったり、塞がないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。
- ③ 排気ダクトにぶら下がったり、ものを掛けたりしないでください。破損の原因になります。

## (2) 排気ダクトを使って 外気循環する場合



### 注記

- ① 壁などに穴を開けて排気ダクトを設置する場合は、工事業者などにご依頼ください。素人工事はトラブルの原因になります。
- ② 周囲温度40℃を超える場所では、排気ダクトは使用しないでください。冷えが悪くなる可能性があります。

## 7 保護装置

### (1) 始動間隔保護装置

「冷風」運転から「停止」または「送風」運転に切替えて、すぐ「冷風」運転にしたときは、コンプレッサー保護のため、約3分間は冷風運転を行いません。保護装置が働いている間は、冷風ランプが点滅します。



### (2) 凍結防止装置

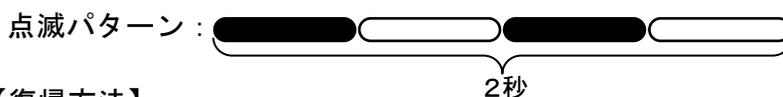
- ① 周囲温度の低下(20℃未満)による熱交換器の凍結を防止します。
- ② 凍結防止が作動すると、操作パネルの冷風ランプが点滅します。



- ③ 凍結防止装置は自動復帰型です。

### (3) コンプレッサーの異常保護

電圧の低下などによる過電流や、モータの異常過熱からコンプレッサーを保護します。操作パネルの冷風ランプがゆっくり点滅している場合は、コンプレッサーの異常です。



#### 【復帰方法】

- 運転を停止する（運転/停止ボタンを押す）
- 3分後、運転を再開する（再度、運転/停止ボタンを押す）
- 同じ症状になった場合は、サービスショップまたは販売店にご連絡ください。



## 8 お手入れと保管

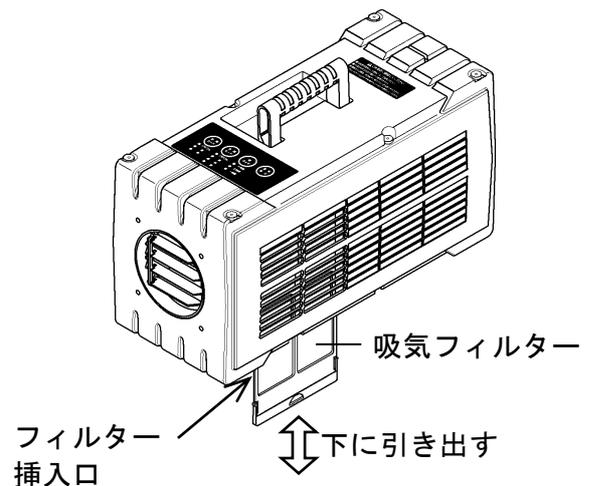
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

### 注記

- ① フィルターにほこりがたまると冷房能力が低下します。
  - ・ フィルターはシーズン始めには必ず掃除してください。
  - ・ シーズン中は2週間に1度以上フィルターの掃除をしてください。
  - ・ 特にほこりの多い場所でご使用の場合は、頻繁にフィルターを掃除してください。
- ② フィルターを引き出す際、本機を横倒しにしないでください。
  - \* コンプレッサーなどの故障の原因になります。

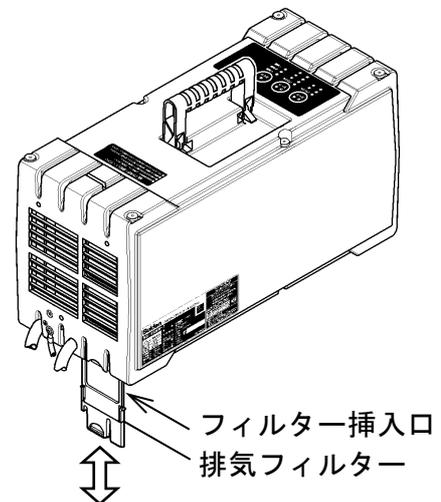
### 1. 吸気フィルターのお掃除

- ① 吸気フィルターの端を持ち、下方向に引っ張ると抜き取れます。
- ② フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
- ③ 汚れがひどいときは、水洗いをし、完全に乾かしてから取付けてください。
- ④ 吸気フィルターは、フィルター挿入口から差入れ、確実に固定してください。



### 2. 排気フィルターのお掃除

- ① 排気フィルターの端を持ち、下方向に引っ張ると抜き取れます。
- ② 排気フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
- ③ 汚れがひどいときは、水洗いをし、完全に乾かしてから取付けてください。
- ④ 排気フィルターを装着するときは、フィルター挿入口から差入れ、確実に固定してください。



### 3. 外装のお手入れ

ダクトや外装の汚れは、乾いた布で拭いてください。  
汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤をつけた布で拭いた後、乾いた布で再度拭いてください。

### 注記

シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉などをご使用になると、樹脂部品等の表面を傷めたり、故障の原因になりますのでご注意ください。

## 4. シーズンが終わったら

- ① フィルターの掃除、本体外装のお手入れをしてください。
- ② ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
- ③ 部品をなくさないように、保管してください。
- ④ 電源コードや延長コードも汚れを落とし、保管してください。

\* 熱交換器、シロッコファンなどの内部清掃は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室にご相談ください。

シーズンオフに内部清掃と点検を行うと、来シーズンすぐにご使用いただけます。(清掃・点検は有料です)

### 注記

本機を横倒しで保管しないでください。

\* 再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

## 9 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。

点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしないでください。

点検項目	処 置
電源(延長)コードは、傷んだり変形していませんか？	修理技術者にご依頼ください。
電源プラグは、変形やガタがありませんか？	
電源コードと電源部は、正しく接続していますか？	
電源コードと延長コードの接続部は、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
電源(延長コード)とプラグは、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
フィルターに、ホコリやゴミが詰まっていますか？	フィルターを掃除してください。
フィルターは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
フィルターは、破れていませんか？	フィルターを交換してください。
熱交換器のフィンは、つぶれていませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
熱交換器のフィンに、ホコリや油汚れが付着していませんか？	
フィルター部や冷氣吹出口を障害物でふさいでいませんか？	障害物を取除いてください。
排水ホースは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
排水ホースに穴が開いたり破れていませんか？	排水ホースを交換してください。
スイッチは、正しく機能しますか？	13ページ「こんなときは」を参考に調べていただき、直らない場合は、販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
異音・異臭はありませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。

# 10 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったらときは、まず下記項目をご確認ください。  
※修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしないでください。

ご 確 認 く だ さ い		
症 状	調 べ る と こ ろ	直 し 方
運転しない	外気温が高過ぎませんか？	運転可能温度範囲でご使用ください。 温度：20℃～40℃
	外気温が低過ぎませんか？	
	電源が供給されていますか？ （停電など）	本体に電源を供給してください。
	電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。
	電源コードが断線していませんか？	修理技術者にご依頼ください。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電気の専門家がおられない場合は、販売店へご相談ください。
ブレーカーが落ちる	ブレーカーの容量は充分にありますか？	ブレーカーは本機専用とし、分岐回路も本機専用にしてください。
	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
送風・冷風運転を繰り返す	周囲の環境が運転可能条件より低くなっていませんか？	運転を停止して、周囲の環境が運転可能条件になるまで待ってください。
冷えない	フィルターや、冷気吹出口がふさがれていますか？	障害物を取除いてください。
	フィルターがホコリやゴミで目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
冷えがにぶい	周囲温度が高すぎませんか？ （40℃を超える温度）	風通しを良くするなど、連続運転可能範囲内（20℃～40℃）でご使用ください。
機外へ水が漏れる 運転中に本体後部から水が漏れる	ドレン口が詰まっていますか？	ドレン口を掃除してください。
	排水ホースが傷ついていますか？	補修するか、新品に交換してください。
	本体が傾いていませんか？	水平な場所でご使用ください。
音がする	運転開始時にブーンという音がする	運転開始時のブーンという音は、コンプレッサーの回転数上がる音ですので故障ではありません。
	振動音が止まらない場合	販売店またはスイデンお客様相談室にご相談ください。

■上記処置をしても直らない場合は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室へご相談ください。

# 11 経年劣化に係る安全上の表示について

## 【本製品の設計標準期間について】

本製品は、設計標準使用期間を7年と算出しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

\* 標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で使用した場合に、安全上支障がなく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間です。

従って、メーカー無償保証期間とは異なるものですので、ご注意ください。

## <設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、製造年を始期とし、(社)日本冷凍空調工業会自主基準に基づき、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

## ●設計標準使用期間を設定するための標準使用条件

種類	スポットエアコン	
型番	SS-1SAW-1 / SS-1SAG-1	
環境条件	電源電圧	100V
	周波数	50/60Hz
	冷房室外温度	35°C(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24°C)
	設置条件	標準設置
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間/日
	1年間の使用時数	1008時間/年
●環境条件の冷房室外温度、冷房室外湿度は、JIS C9612の試験状態を参考にしています。		
●想定時間の1年間の使用日数は、JIS C9612の付属書3(ルームエアコンディショナの期間エネルギー消費効率算定のための試験および算出方法)を参考としています。		

## <ご注意ください>

- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでご使用された場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが高くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間よりも早期に点検を受けることをおすすめします。
- 製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計標準使用時間の到来前に経年劣化等による重大事故発生の恐れが高まることが予想されます。

# 12 アフターサービスと保証について

## ⚠ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- \* 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- \* 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- \* 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

## フロン排出抑制法 第1種特定製品

- 1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- 2) この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 3) フロン類の種類、冷媒番号、地球温暖化係数および数量

種類	冷媒番号	地球温暖化係数	数量
HFC	R134A	1430	0.1 kg



### ●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後9年です。

### ●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。(日本国内でご使用の場合に限ります。) ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

## ⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

### ★長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

愛情点検



このような症状はありますか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い  
異常があれば  
ご使用を  
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、またはお客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店名	
電話番号	
お買い上げ年月日	年 月 日

株式会社 **スイデン**

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24  
ホームページ <https://www.suiden.com>

お客様相談室  
フリーダイヤル

**0120-285-240**

Eメールでのお問い合わせは [info@suiden.com](mailto:info@suiden.com)